

県東地区 生徒図書委員研修会報告

6月22日(火) 玉造工業高校で県東地区生徒図書委員会が実施されました。

本校生4名が参加し、午前はそれぞれの課題図書について意見交換をし、午後はピリオオバトルで活躍しました。参加12校、60名の中で4グループ中2人(長谷さん・斉藤さん)が決勝に進出。斉藤さんのおすすめ本がみごとグランドチャンプ本となりました。

Aグループ『高校生レストランの奇跡』 (担当校・玉造工業高校)

*長谷さん(2年)

私は玉造工業高校で行われた読書会に参加して多くのことを学びました。一冊の本を通してお互いの意見を交換し、自分にはなかった考えを得ることができました。ピリオオバトルでは『妖怪アパートの幽雅な日常』という本の魅力を精一杯紹介し、第2会場でのチャンプ本に選ばれたことができました。決勝では負けてしまいましたが、とてもいい経験になり、自分に足りないものも痛感した一日でした。



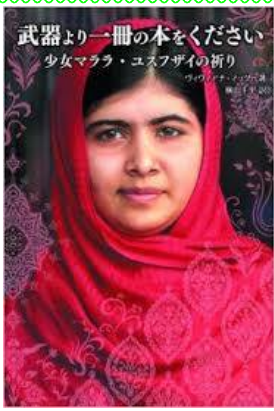
連続ドラマのモデルになった高校生レストラン「まごの店」。営業日は、常に満席・即完売の大盛況!しかし、設立までの道のりは困難の連続だった。前例のない町おこしの事業に全力でぶつかっていく、噂の役場職員奮闘記。

Bグループ『武器より一冊の本をください』 (担当校・麻生高校)

*和田さん(2年)

先日行われた読書会に参加し、たくさんの方の意見を学びました。課題図書について、私一人では考えも及ばないたくさんの意見が出て、こんなにも考えが違うのかと驚きました。そして、自分の意見をはっきり述べること、相手の意見をしっかりと聞くことで、本についての理解が深まることに気付きました。とても有意義な時間を過ごせました。

ピリオオバトルは、自分がオススメしたい本を聞き手が読みたくなるように紹介するのですが、とても難しく、私はうまく紹介することができませんでした。他校の人の紹介を聞き、自分の欠点を見つけることができましたので、またこのような機会があれば挑戦したいと思いました。今回学んだことを活かし、今後の図書活動も精一杯頑張りたいと思います。



2012年10月9日。15歳の少女が通学途中に銃撃にあった。少女の名は、マララ・ユスフザイ。ただただ、勉強がしたいと願う少女だった。奇跡的に生き抜くことができた一人の少女が、今、全世界に訴える。「すべての人に平和と教育を。教育こそただ一つの解決策だ。」と。

Cグループ『また必ず会おう』と誰もが言った。 (担当校・潮来高校)

*斉藤さん(2年)

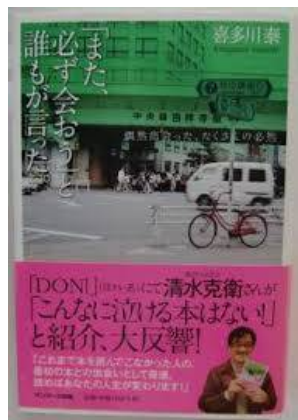
今回の読書会は、私にとって大変実りあるものとなりました。図書討論会とピリオオバトルという二つの本に関する催しを経験したわけですが、本に対する情熱を持つ人たちとことん語り合うことができ、時間



を忘れるほど楽しい時間を過ごすことができました。元来人見知りする性格の私がここまで充実した時間をくれたのは、勿論同じ趣味をもつ者同士で集まったということもありますが、運営の方々の尽力によるものが大きいと思います。図書討論会においては、特に司会を受け持ってくださった学校の生徒さんの影響が大きいです。私の参加したCグループは終始和やかな空気です。課題図書について話し合うことができた。自分とは異なる視点や感想に触れ、とてもいい刺激になりました。また、ピリオオバトルでは参加した生徒さんみなさんが、自分のおすすめの本の魅力をそれぞれ熱心に話してくれたので、「読みたい」と思える本がたくさん出会うことができました。この貴重な経験を12月の中央研修会に活かし、参加した生徒さんたちに心の底から楽しんでもらえる催しができればいいなと思います。

*島君(1年)

今回の県東地区生徒図書委員研修会に参加して思ったこと、感じたことは二つあります。一つは、本に対する感想はそれぞれによるもので、同じ本を読んでもとらえ方や感じ方が違うということの再認識です。読書会での発言や発表で改めて実感しました。二つ目は、発表する力の重要性です。ピリオオバトルでは、自分が面白いと思った本を発表し、一番読んでみたいと思った本に投票してチャンプ本を決めるのですが、発表が上手な人には思わず引き込まれてしまいました。自分の力不足を思い知りましたが、今回の研修会はとても有意義なもので、機会があれば来年も参加したいと思いました。



主人公・秋月和也は熊本県内の高校に通う17歳。ひよんなことからついてしまった小さなウソが原因で、単身、ドイツ・ニュルンベルグへと行く羽目になる。ところが、不運が重なったことから最終便の飛行機に乗り遅れてしまう。所持金は3400円。途方に暮れる彼に「おい! 若者」と声をかけたのは、空港内の土産物売場で働く1人のおばさんだった。人生を考え始めた高校生に大人たちが語りかける、あたりまえだけどキラリと光った珠玉の言葉。この物語では、一人の若者が旅を通じていわゆる普通の人たちと出会い、その人たちの日常に触れながら、自分の日常を見直す機会を得ます。その中で彼は同時に「生きる力」についても学んでいきます。

斉藤さん ピリオオバトル チャンプ!



斉藤さん 『スーサ』
聴衆をひきこむみごとな語り!



長谷さん 『妖怪アパートの幽雅な日常』
第2グループのチャンプ。



熱心に紹介を聞く他校図書委員



表彰式



島君 『モモ』
小学生時代に出会った大切な本。



和田さん『図書館戦争』大好きな
有川浩の本を熱く語りました。